

北海道型 SMA

耐久性さらに向 上

大成ロテック 特殊改質アス使う



ハイパーマスタックの施工状況



舗装表面がさらさらしている

大成ロテックは、多雪・厳寒地域向け砕石マスタックアスファルト舗装（北海道型 SMA）の耐久性をさらに高めた舗装「ハイパーマスタック」を開発した。温度変形に対する追従性に優れた特殊改質アスファルトを用いることで、路面のひび割れや骨材飛散、凍害などによる機能低下を抑制するのが特徴だ。北海道内の2路線で試験施工を実施。長期耐久性を検証

するとともに、ハイパーマスタックと特殊改質アスファルトを積極的に技術提案していく方針だ。北海道型 SMA は、舗装表面が空隙のあるポラスアスファルト舗装のよつなきめを持ち、舗装内部は緻密性や遮水性に優れる SMA で構成する。温度への依存性が高いアスファルト混合物は、路面温度が上昇すると軟化と流動によりわだち掘れが発生しやすい。一方、路面温度が低下すると硬化するため、ひび割れが生じやすくなる。そこで

同社は高温でも軟化・流動しにくい特殊改質アスファルトを開発した。低温時の応力緩和性や変形性能に優れる。ハイパーマスタックは、北海道型 SMA に特殊改質アスファルトを使った舗装。温度変化に対する追従性や安定性が高いのが特徴だ。表面のきめが最大1・4ミルあることで、簡易排水機能や騒音の発生抑制にもつながる。

同社は昨年11、12月に道内の釧路外環状道路（国道38号、施工面積1200平方メートル）と北海道横断自動車道（本別IC〜釧路西IC、同2500平方メートル）の2路線で試験施工を行った。今後は追跡調査を実施して長期の耐久性を検証。技術資料を取りまとめ、営業活動に生かす。